

対象校No.

注4

学校コード F112310102413

注3

設置年度

令和

5年度

届出

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

注2

淑徳大学

人文学部

人間科学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人大乘淑徳学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 淑徳大学 学長室

職名・氏名

シツチョウツイキショウイチ
室長・立木正一

電話番号

03-5918-7265 (内線: 943)

(夜間)

03-5918-7265 (内線: 943)

e-mail

tk-presidentoffice@daijo.shukutoku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人文学部

＜人間科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	4
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教育研究実施組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人大乗淑徳学園

(2) 大学名

淑徳大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒174-8631

東京都板橋区前野町6-36-4

(〒260-8701 千葉県千葉市中央区大巖寺町200)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハセガワ マサトシ) 長谷川 匡俊 (平成14年4月)		
学長	(ヤマグチ コウジ) 山口 光治 (令和3年4月)		
学部長	(オガワ ヒロアキ) 小川 博章 (令和4年4月)		
学科長等	(ハセガワ ミキコ) 長谷川 美貴子 (令和5年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入して下さい(入試区分ごとではありません)。
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を超え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 人間科学 学士(人間科学)	文学関係 教育学・保育学関係 社会学・社会福祉学関係	4年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	400人	-	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・「学位又は学科の分野」は、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・「学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和()年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	()	()	()	()	()	()	100人	()	100人	()	()	100人	()	-	1.00倍	-	
志願者数	()	()	()	()	()	()	180	()	224	()	()	183	()	-	-	-	
受験者数	()	()	()	()	()	()	175	()	211	()	()	176	()	-	-	-	
合格者数	()	()	()	()	()	()	175	()	174	()	()	166	()	-	-	-	
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	107	()	109	()	()	103	()	-	-	-	
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	1.07	-	1.09	-	-	1.03	-	-	-	-	

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・()内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・**転入学生は記入しないでください。**
 ・[]内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。
 ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
 なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・「収容定員充足率」は、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用) IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「(5) ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学の状況」IC「調査対象学部等」の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	()	()	()	()	()	()	98	()	105	()	()	103	()	
2年次	()	()	()	()	()	()	()	()	95	()	()	105	()	
3年次	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	94	()	
4年次	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
計	()	()	()	()	()	()	98	()	200	()	()	302	()	

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・[]内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・()内には、**留年者の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・**編入学生や転入学生も高めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。
 ・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	98 人	9 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	9 人	0 人	修学意欲の低下(1人)、就職(3人)、他の教育機関への転学(1人)、除籍(4人)
令和6年度	200 人	7 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	4 人	0 人	修学意欲の低下(2人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、その他(1人)
			令和6年度	3 人	0 人	修学意欲の低下(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、除籍(1人)
令和7年度	302 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合計		16 人		16 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{9}{107} = \boxed{8,41} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{7}{207} = \boxed{3,38} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{302} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文学部 人間科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	の学習能力 利他共生 小計(2科目)	1前 1後 -	1 1 -			5 3 -	3 3 -				
	思考力の養成 情報リテラシー データリテラシー 統計分析法 問題解決法 創造思考法 小計(5科目)	1前 1後 1後 3後 4後 -	1 1 1 1 1 -			5 3 5 3 -	3 3 3 3 -				兼2 兼2 兼1 兼1 兼3
	表現力の養成 コミュニケーション実習Ⅰ(基礎) コミュニケーション実習Ⅱ(応用) コミュニケーション実習Ⅲ(実践) コミュニケーション実習Ⅳ(発展) 表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(作文・論文) 表現技法Ⅲ(発表・討論) 表現技法Ⅳ(企画・立案) 表現技法Ⅴ(プレゼンテーション) 小計(9科目)	1前 1後 2前 2後 1前 1後 2前 2後 3前 -	1 1 1 1 1 1 1 1 1 -			0 0 0 0 0 0 0 0 0 -	0 0 0 0 0 0 0 0 0 -				兼3 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼1
	人間力の養成 自己管理と社会規範 チームワークとリーダーシップ 地域活動と社会貢献 他者理解と信頼関係 小計(4科目)	1前 1後 2前 2後 -	1 1 1 1 -			0 0 0 0 -	0 0 0 0 -				兼1 兼1 兼1 兼4
	の社会力 社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ 小計(2科目)	2前 2後 -	1 1 -			0 0 -	0 0 -				兼1 兼1 兼1
	人間の理解 人間心理と人間行動 現代家族と育児介護 健康管理と身体活動 スポーツと運動科学 日本社会と歴史文化 生命科学と物理化学 小計(6科目)	2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 -	1 1 1 1 1 1 -			0 0 0 0 0 0 -	1 1 1 1 1 1 -				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3
	社会の理解 情報社会とデータサイエンス 法律社会と法律問題 福祉政策と福祉制度 日本国家と政治行政 経済構造と経済政策 現代医療と生命倫理 小計(6科目)	2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 -	1 1 1 1 1 1 -			0 0 0 0 0 0 -	1 1 1 1 1 1 -				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼4
	国際の理解 国際社会と国際問題 世界宗教と民族問題 世界動向と国際貢献 国際平和と安全保障 国際関係と日本外交 地球環境と環境対策 小計(6科目)	2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 -	1 1 1 1 1 1 -			0 0 0 0 0 0 -	0 0 0 0 0 0 -				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3
	専門教育科目 基礎科目 人間科学概論 人間行動論 小計(2科目)	1前 1後 -	2 2 -			3 2 -	2 2 -				
	基幹科目 心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 社会学概論Ⅰ 社会学概論Ⅱ 健康科学Ⅰ 健康科学Ⅱ 教育学概論Ⅰ 教育学概論Ⅱ 小計(8科目)	1前 1後 1前 1後 1前 1後 1前 1後 -	2 2 2 2 2 2 2 2 -			1 1 1 1 1 1 1 1 -	1 1 1 1 1 1 1 1 -				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要科目	単位数				基幹教員等の配置				(外の教員を除く) 助手を除く	
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	の学習能力 利他共生 小計(2科目)	1前 1後 -		1 1 -			5 3 -	4 3 -			2 2 -		
	思考力の養成 情報リテラシー データリテラシー 統計分析法 問題解決法 創造思考法 小計(5科目)	1前 1後 1後 3後 4後 -	○ ○ ○ ○ ○ -	1 1 1 1 1 -			5 3 5 3 -	4 3 4 4 -			0 1 2 2 -	兼4 兼4 兼0 兼0 兼4	
	表現力の養成 コミュニケーション実習Ⅰ(基礎) コミュニケーション実習Ⅱ(応用) コミュニケーション実習Ⅲ(実践) コミュニケーション実習Ⅳ(発展) 表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(作文・論文) 表現技法Ⅲ(発表・討論) 表現技法Ⅳ(企画・立案) 表現技法Ⅴ(プレゼンテーション) 小計(9科目)	1前 1後 2前 2後 1前 1後 2前 2後 3前 -	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ -	1 1 1 1 1 1 1 1 1 -			0 0 0 0 0 0 0 0 0 -	4 3 4 4 1 1 1 1 1 -				兼5 兼5 兼4 兼1 兼3 兼3 兼0 兼1 兼1 兼10	
	人間力の養成 自己管理と社会規範 チームワークとリーダーシップ 地域活動と社会貢献 他者理解と信頼関係 小計(4科目)	1前 1後 2前 2後 -	○ ○ ○ ○ -	1 1 1 1 -			0 0 0 0 -	1 1 1 1 -			0 0 0 0 -	兼1 兼1 兼1 兼3	
	の社会力 社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ 小計(2科目)	2前 2後 -	○ ○ -	1 1 -			1 1 -	1 1 -			0 0 -	兼1 兼1 兼1	
	人間の理解 人間心理と人間行動 現代家族と育児介護 健康管理と身体活動 スポーツと運動科学 日本社会と歴史文化 生命科学と物理化学 小計(6科目)	2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 -	○ ○ ○ ○ ○ ○ -	1 1 1 1 1 1 -			0 0 0 0 0 0 -	1 1 1 1 1 1 -				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3	
	社会の理解 情報社会とデータサイエンス 法律社会と法律問題 福祉政策と福祉制度 日本国家と政治行政 経済構造と経済政策 現代医療と生命倫理 小計(6科目)	2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 -	○ ○ ○ ○ ○ ○ -	1 1 1 1 1 1 -			0 0 0 0 0 0 -	1 1 1 1 1 1 -				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼5	
	国際の理解 国際社会と国際問題 世界宗教と民族問題 世界動向と国際貢献 国際平和と安全保障 国際関係と日本外交 地球環境と環境対策 小計(6科目)	2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 2-2-2-2-2-2 -	○ ○ ○ ○ ○ ○ -	1 1 1 1 1 1 -			0 0 0 0 0 0 -	1 1 1 1 1 1 -				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼5	
	専門教育科目 基礎科目 人間科学概論 人間行動論 小計(2科目)	1前 1後 -	○ ○ -	2 2 -			3 2 -	2 2 -			1 1 -	0 0 -	兼1 兼1
	基幹科目 心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 社会学概論Ⅰ 社会学概論Ⅱ 健康科学Ⅰ 健康科学Ⅱ 教育学概論Ⅰ 教育学概論Ⅱ 小計(8科目)	1前 1後 1前 1後 1前 1後 1前 1後 -	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ -	2 2 2 2 2 2 2 2 -			1 1 1 1 1 1 1 1 -	1 1 1 1 1 1 1 1 -				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	人間と哲学	1前		2							兼1
	人間と倫理	1後		2							兼1
	人間と思想	2前		2							兼1
	人間と仏教	2後		2		1					
	公認心理師の職責	3前		2							兼1
	臨床心理学概論	2後		2		1					
	心理学研究法	2前		2					1		
	心理学統計法	2前		2					1		
	心理学実験	2前		2					1		
	心理学基礎実験	2後		2					1		兼3
	心理的アセスメント実習	3前		2			1		1		兼2
	知覚・認知心理学	1後		2			1				
	学習・言語心理学	2前		2			1				
	感情・人格心理学	2後		2		1					
	神経・生理心理学	3前		2							
	社会・集団・家族心理学	2前		2		1					
	発達心理学	1後		2		1					
	障害者・障害児心理学	2後		2					1		
	心理的アセスメント	2後		2			1				
	心理学的支援法	2後		2					1		
	健康・医療心理学	1後		2		1					
	福祉心理学	3後		2					1		
	教育・学校心理学	2前		2					1		
	司法・犯罪心理学	3前		2		1					
	産業・組織心理学	3後		2							兼1
	人体の構造と機能及び疾病	2後		2		1					
	精神疾患とその治療	3後		2		1					
	関係行政論	2前		2					1		
	心理演習(基礎)	3前		1		2	1		2		
	心理演習(応用)	3後		1		2	1		2		
	心理実習	4通		2		2	1		2		
	スポーツ心理学	2後		2							兼1
	恋愛心理学	3前		2							兼1
	ストレスマネジメント	3後		2							兼1
	心理描写研究	3後		2							兼1
	相談援助論	2前		2		1					
	相談援助方法論	2後		2		1					
	家族社会学	2後		2							兼1
	地域福祉の理論と方法	2前		2		1					
	ジェンダー論	1後		2							兼1
	児童に対する支援	3前		2							兼1
	家庭に対する支援	3後		2							兼1
	高齢者に対する支援	3後		2				1			兼0
	障害者に対する支援	3前		2		1					
	栄養学	1後		2							兼1
	健康と栄養	2前		2							兼1
	スポーツ生理学	2前		2		1					
健康と運動	2後		2		1						
子どもの身体運動と健康	3前		2		1						
高齢者の身体運動と健康	3後		2		1						
スポーツビジネス	3前		2							兼1	
教育哲学	2前		2							兼1	
教育社会学	2前		2							兼1	
教育心理学	2後		2					1			
日本の教育事情	2後		2							兼1	
子どもの生活環境	3後		2							兼1	
子どもの権利擁護	3前		2							兼1	
教育相談	3後		2		1						
小計(58科目)	—		0	114	0	5	3	0	3	0	兼14
演習科目	人間科学専門演習Ⅰ	1後		1		5	3		3		
	人間科学専門演習Ⅱ	2前		1		5	3		3		
	人間科学専門演習Ⅲ	2後		1		5	3		3		
	人間科学専門演習Ⅳ	3前		1		5	3		3		
	人間科学専門演習Ⅴ	3後		1		5	3		3		
	人間科学専門演習Ⅵ	4前		1		5	3		3		
	人間科学専門演習Ⅶ	4後		1		5	3		3		
小計(7科目)	—		7	0	0	5	3	0	3	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数				基幹教員等の配置				(外の教員、助手を除く)	
				必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	人間と哲学	1前			2								兼1
	人間と倫理	1後			2								兼1
	人間と思想	2前			2								兼1
	人間と仏教	2後			2			1					
	公認心理師の職責	3前			2								兼1
	臨床心理学概論	2後		○	2			1					
	心理学研究法	2前			2					1			
	心理学統計法	2前			2					1			
	心理学実験	2前			2					1			
	心理学基礎実験	2後			2					1			兼3
	心理的アセスメント実習	3前			2				1	1			兼2
	知覚・認知心理学	1後			2				1				
	学習・言語心理学	2前			2					1			
	感情・人格心理学	2後			2			1					
	神経・生理心理学	3前			2								
	社会・集団・家族心理学	2前			2			1					
	発達心理学	1後		○	2			1					
	障害者・障害児心理学	2後			2					1			
	心理的アセスメント	2後		○	2				1				
	心理学的支援法	2後		○	2				1				
	健康・医療心理学	1後			2			1		1			
	福祉心理学	3後		○	2						1		
	教育・学校心理学	2前		○	2				1				
	司法・犯罪心理学	3前		○	2			1					
	産業・組織心理学	3後			2								兼1
	人体の構造と機能及び疾病	2後			2			1					
	精神疾患とその治療	3後			2			1					
	関係行政論	2前			2						1		
	心理演習(基礎)	3前			1		1	1	2		0		
	心理演習(応用)	3後			1		1	1	2		0		
	心理実習	4通			2		2	2	2		1		
	スポーツ心理学	2後			2								兼1
	恋愛心理学	3前			2								兼1
	ストレスマネジメント	3後			2								兼1
	心理描写研究	3後			2								兼1
	相談援助論	2前		○	2			1					
	相談援助方法論	2後		○	2			1					
	家族社会学	2後			2								兼1
	地域福祉の理論と方法	2前			2			1					
	ジェンダー論	1後			2								兼1
	児童に対する支援	3前			2								兼1
	家庭に対する支援	3後			2								兼1
	高齢者に対する支援	3後			2				1				兼0
	障害者に対する支援	3前			2			1					
	栄養学	1後			2								兼1
	健康と栄養	2前			2								兼1
	スポーツ生理学	2前			2			1					
健康と運動	2後		○	2			1						
子どもの身体運動と健康	3前			2			1						
高齢者の身体運動と健康	3後			2			1						
スポーツビジネス	3前			2								兼1	
教育哲学	2前			2								兼1	
教育社会学	2前			2								兼1	
教育心理学	2後		○	2				1					
日本の教育事情	2後			2								兼1	
子どもの生活環境	3後			2								兼1	
子どもの権利擁護	3前			2								兼1	
教育相談	3後			2				1					
小計(58科目)	—			0	114	0	5	4	0	2	0	兼16	
演習科目	人間科学専門演習Ⅰ	1後	○	1			5	4		2			
	人間科学専門演習Ⅱ	2前	○	1			5	4		2			
	人間科学専門演習Ⅲ	2後	○	1			5	4		2			
	人間科学専門演習Ⅳ	3前	○	1			5	4		2			
	人間科学専門演習Ⅴ	3後	○	1			5	4		2			
	人間科学専門演習Ⅵ	4前	○	1			5	4		2			
	人間科学専門演習Ⅶ	4後	○	1			5	4		2			
小計(7科目)	—			7	0	0	5	4	0	2	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門教育科目	フィールドワークⅠ（事前事後学習を含む）	2通		3		1			3			
	フィールドワークⅡ（事前事後学習を含む）	3通		3		1			3			
	小計（2科目）	—	0	6	0	2	0	0	3	0	0	
合計（17科目）			—	37	150	0	5	3	0	3	0	兼35

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置				（外の教員・助手を除く）		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門教育科目	フィールドワークⅠ（事前事後学習を含む）	2通			3		3	1		0			
	フィールドワークⅡ（事前事後学習を含む）	3通			3		3	1		0			
	小計（2科目）	—	—	0	6	0	3	1	0	2	0		
合計（17科目）			—	—	37	150	0	5	4	0	2	0	兼48

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目においては、「学習力の養成」から必修2科目2単位、「思考力の養成」から必修を含めて4科目4単位以上、「表現力の養成」から必修を含めて6科目6単位、「人間力の養成」から必修4科目4単位、「社会力の養成」から必修2科目2単位、「人間の理解」から2科目2単位以上選択、「社会の理解」から2科目2単位以上選択、「国際の理解」から2科目2単位以上選択、合わせて27単位以上を修得すること。

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目においては、「学習力の養成」から必修2科目2単位、「思考力の養成」から必修を含めて4科目4単位以上、「表現力の養成」から必修を含めて6科目6単位、「人間力の養成」から必修4科目4単位、「社会力の養成」から必修2科目2単位、「人間の理解」から2科目2単位以上選択、「社会の理解」から2科目2単位以上選択、「国際の理解」から2科目2単位以上選択、合わせて27単位以上を修得すること。

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
基礎教育科目	利他共生 小計（2科目）	1前 —	1 2	0 0	0 0	5 4	0 0	2 0	0 0	0 0	兼4	
	情報リテラシー データリテラシー	1前 1後	1 1								兼4	
	統計分析法 問題解決法 創造思考法	1後 3後 4後	1 1 1	1		5	4	0	2	0	兼0	
	小計（5科目）	—	4	1	0	5	4	0	2	0	兼4	
	コミュニケーション実習Ⅰ（基礎） コミュニケーション実習Ⅱ（応用） コミュニケーション実習Ⅲ（実践） コミュニケーション実習Ⅳ（実務）	1前 1後 2前 2後	1 1 1 1									兼5 兼4 兼1 兼3
	表現技法Ⅰ（読解・分析） 表現技法Ⅱ（作文・論文） 表現技法Ⅲ（発表・討論） 表現技法Ⅳ（企画・立案） 表現技法Ⅴ（プレゼンテーション）	1前 1後 2前 2後 3前	1 1 1 1 1			1						兼0 兼0 兼0 兼1
	小計（9科目）	—	6	3	0	1	1	0	0	0	0	兼9
	自己管理と社会規範 チームワークとリーダーシップ	1前 1後	1 1				1					兼1
	地域活動と社会貢献 他者理解と信頼関係	2前 2後	1 1									兼1 兼1
	小計（4科目）	—	4	0	0	0	1	0	0	0	0	兼3
	社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ	2前 2後	1 1			1	1					兼0 兼0
	小計（2科目）	—	2	0	0	1	1	0	0	0	0	兼0
	人間心理と人間行動 現代家族と育児介護 健康管理と身体活動 スポーツと運動科学 日本社会と歴史文化 生命科学と物理化学	2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前	1 1 1 1 1 1									兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	小計（6科目）	—	0	6	0	0	1	0	1	0	0	兼3
	情報社会とデータサイエンス 法律社会と法律問題 福祉政策と福祉制度 日本国家と政治行政 経済構造と経済政策 現代医療と生命倫理	2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前	1 1 1 1 1 1									兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
小計（6科目）	—	0	6	0	2	0	0	0	0	0	兼4	
国際社会と国際問題 世界宗教と民族問題 世界動向と国際貢献 国際平和と安全保障 国際関係と日本外交 地球環境と環境対策	2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前	1 1 1 1 1 1									兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
小計（6科目）	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	兼6	
基礎科目 人間科学概論 人間行動論 小計（2科目）	1前 1後 —	2 2 4	0	0	3	2	0	1	1	0	0	
基礎科目 心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ 健康科学論Ⅰ 健康科学論Ⅱ 教育学概論Ⅰ 教育学概論Ⅱ	1前 1前 1前 1後 1前 1後 1前 1後	2 2 2 2 2 2 2 2			1 1 1 1 1 1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
小計（8科目）	—	8	8	0	2	3	0	1	0	0	兼1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基礎教育科目	利他共生 小計（2科目）	1前 —	1 2	0 0	0 0	4 4	0 0	2 0	0 0	0 0	0	
	情報リテラシー データリテラシー	1前 1後	1 1								兼2 兼2	
	統計分析法 問題解決法 創造思考法	1後 3後 4後	1 1 1	1		5	4	0	2	0	兼1	
	小計（5科目）	—	4	1	0	5	4	0	3	0	兼3	
	コミュニケーション実習Ⅰ（基礎） コミュニケーション実習Ⅱ（応用） コミュニケーション実習Ⅲ（実践） コミュニケーション実習Ⅳ（実務）	1前 1後 2前 2後	1 1 1 1									兼2 兼2 兼2 兼2
	表現技法Ⅰ（読解・分析） 表現技法Ⅱ（作文・論文） 表現技法Ⅲ（発表・討論） 表現技法Ⅳ（企画・立案） 表現技法Ⅴ（プレゼンテーション）	1前 1後 2前 2後 3前	1 1 1 1 1			1						兼2 兼2 兼2 兼2 兼1
	小計（9科目）	—	6	3	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	自己管理と社会規範 チームワークとリーダーシップ	1前 1後	1 1									兼1
	地域活動と社会貢献 他者理解と信頼関係	2前 2後	1 1									兼1 兼1
	小計（4科目）	—	4	0	0	0	0	0	0	1	0	兼3
	社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ	2前 2後	1 1									兼1 兼1
	小計（2科目）	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1
	人間心理と人間行動 現代家族と育児介護 健康管理と身体活動 スポーツと運動科学 日本社会と歴史文化 生命科学と物理化学	2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前	1 1 1 1 1 1									兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	小計（6科目）	—	0	6	0	1	1	0	1	0	0	兼3
	情報社会とデータサイエンス 法律社会と法律問題 福祉政策と福祉制度 日本国家と政治行政 経済構造と経済政策 現代医療と生命倫理	2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前	1 1 1 1 1 1									兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
小計（6科目）	—	0	6	0	2	0	0	0	0	0	兼4	
国際社会と国際問題 世界宗教と民族問題 世界動向と国際貢献 国際平和と安全保障 国際関係と日本外交 地球環境と環境対策	2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前 2-2-3-4前	1 1 1 1 1 1									兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
小計（6科目）	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
基礎科目 人間科学概論 人間行動論 小計（2科目）	1前 1後 —	2 2 4	0	0	3	2	0	1	1	0	0	
基礎科目 心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ 健康科学論Ⅰ 健康科学論Ⅱ 教育学概論Ⅰ 教育学概論Ⅱ	1前 1前 1前 1後 1前 1後 1前 1後	2 2 2 2 2 2 2 2			1 1 1 1 1 1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
小計（8科目）	—	8	8	0	2	3	0	1	0	0	兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	人間と哲学	1前	2								兼1
	人間と倫理	1後	2								兼1
	人間と思想	2前	2								兼1
	人間と仏教	2後	2			1					
	公認心理師の職責	3前	2								兼1
	臨床心理学概論	2後	2			1					
	心理学研究法	2前	2					1			
	心理学統計法	2前	2						1		
	心理学実験	2前	2						1		
	心理学基礎実験	2後	2						1		兼3
	心理的アセスメント実習	3前	2					1		1	兼2
	知覚・認知心理学	1後	2				1				
	学習・言語心理学	2前	2				1				
	感情・人格心理学	2後	2			1					
	神経・生理心理学	3前	2								
	社会・集団・家族心理学	2前	2				1				
	発達心理学	1後	2				1				
	障害者・障害児心理学	2後	2						1		
	心理的アセスメント	2後	2				1				
	心理学的支援法	2後	2							1	
	健康・医療心理学	1後	2				1				
	福祉心理学	3後	2							1	
	教育・学校心理学	2前	2				1				
	司法・犯罪心理学	3前	2			1					
	産業・組織心理学	3後	2								兼1
	人体の構造と機能及び疾病	2後	2			1					
	精神疾患とその治療	3後	2			1					
	関係行政論	2前	2						1		
	心理演習(基礎)	3前	1	2		2		1			
	心理演習(応用)	3後	1	2		2		1			
	心理実習	4通	2	2		2			1		
	スポーツ心理学	2後	2								兼1
	恋愛心理学	3前	2								兼1
	ストレスマネジメント	3後	2								兼1
	心理描写研究	3後	2								兼1
	相談援助論	2前	2			1					
	相談援助方法論	2後	2			1					
	家族社会学	2後	2								兼1
	地域福祉の理論と方法	2前	2			1					
	ジェンダー論	1後	2								兼1
	児童に対する支援	3前	2								兼1
	家庭に対する支援	3前	2								兼1
	高齢者に対する支援	3後	2								兼1
	障害者に対する支援	3前	2			1					
	栄養学	1後	2								兼1
	健康と栄養	2前	2								兼1
	スポーツ生理学	2前	2			1					
健康と運動	2後	2			1						
子どもの身体運動と健康	3前	2			1						
高齢者の身体運動と健康	3後	2			1						
スポーツビジネス	3前	2								兼1	
教育哲学	2前	2								兼1	
教育社会学	2前	2								兼1	
教育心理学	2後	2			1						
日本の教育事情	2後	2								兼1	
子どもの生活環境	3後	2								兼1	
子どもの権利擁護	3前	2								兼1	
教育相談	3後	2			1						
小計(55科目)	—	0	111	0	5	4	0	2	0	0	兼17
演習科目	人間科学専門演習Ⅰ	1後	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅱ	2前	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅲ	2後	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅳ	3前	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅴ	3後	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅵ	4前	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅶ	4後	1			5	4	2			
小計(7科目)	—	7	0	0	5	4	0	2	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	人間と哲学	1前	2								兼1
	人間と倫理	1後	2								兼1
	人間と思想	2前	2								兼1
	人間と仏教	2後	2			1					
	公認心理師の職責	3前	2								兼1
	臨床心理学概論	2後	2			1					
	心理学研究法	2前	2					1			
	心理学統計法	2前	2						1		
	心理学実験	2前	2						1		
	心理学基礎実験	2後	2						1		兼3
	心理的アセスメント実習	3前	2					1		1	兼2
	知覚・認知心理学	1後	2				1				
	学習・言語心理学	2前	2				1				
	感情・人格心理学	2後	2			1					
	神経・生理心理学	3前	2								
	社会・集団・家族心理学	2前	2				1				
	発達心理学	1後	2				1				
	障害者・障害児心理学	2後	2						1		
	心理的アセスメント	2後	2				1				
	心理学的支援法	2後	2							1	
	健康・医療心理学	1後	2				1				
	福祉心理学	3後	2							1	
	教育・学校心理学	2前	2				1				
	司法・犯罪心理学	3前	2			1					
	産業・組織心理学	3後	2								兼1
	人体の構造と機能及び疾病	2後	2			1					
	精神疾患とその治療	3後	2			1					
	関係行政論	2前	2						1		
	心理演習(基礎)	3前	1	2		2		2		1	
	心理演習(応用)	3後	1	2		2		2		1	
	心理実習	4通	2	2		2		2		1	
	スポーツ心理学	2後	2								兼1
	恋愛心理学	3前	2								兼1
	ストレスマネジメント	3後	2								兼1
	心理描写研究	3後	2								兼1
	相談援助論	2前	2			1					
	相談援助方法論	2後	2			1					
	家族社会学	2後	2								兼1
	地域福祉の理論と方法	2前	2			1					
	ジェンダー論	1後	2								兼1
	児童に対する支援	3前	2								兼1
	家庭に対する支援	3前	2								兼1
	高齢者に対する支援	3後	2								兼1
	障害者に対する支援	3前	2			1					
	栄養学	1後	2								兼1
	健康と栄養	2前	2								兼1
	スポーツ生理学	2前	2			1					
健康と運動	2後	2			1						
子どもの身体運動と健康	3前	2			1						
高齢者の身体運動と健康	3後	2			1						
スポーツビジネス	3前	2								兼1	
教育哲学	2前	2								兼1	
教育社会学	2前	2								兼1	
教育心理学	2後	2			1						
日本の教育事情	2後	2								兼1	
子どもの生活環境	3後	2								兼1	
子どもの権利擁護	3前	2								兼1	
教育相談	3後	2			1						
小計(58科目)	—	0	114	0	5	4	0	2	0	0	兼14
演習科目	人間科学専門演習Ⅰ	1後	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅱ	2前	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅲ	2後	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅳ	3前	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅴ	3後	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅵ	4前	1			5	4	2			
	人間科学専門演習Ⅶ	4後	1			5	4	2			
小計(7科目)	—	7	0	0	5	4	0	2	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む)	2通		3		1	1		2			
	フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)	3通		3		1	1		2			
	小計(2科目)	—	0	6	0	2	2	0	2	0	0	
合計(17科目)			—	37	150	0	5	4	0	2	0	兼35

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む)	2通		3		1	1		2			
	フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)	3通		3		1	1		2			
	小計(2科目)	—	0	6	0	2	2	0	2	0	0	
合計(17科目)			—	37	150	0	5	4	0	2	0	兼35

基礎教育科目においては、「学習力の養成」から必修2科目2単位、「思考力の養成」から必修を含めて4科目4単位以上、「表現力の養成」から必修を含めて6科目6単位、「人間力の養成」から必修4科目4単位、「社会力の養成」から必修2科目2単位、「人間の理解」から2科目2単位以上選択、「社会の理解」から2科目2単位以上選択、「国際の理解」から2科目2単位以上選択、合わせて27単位以上を修得すること。

基礎教育科目においては、「学習力の養成」から必修2科目2単位、「思考力の養成」から必修を含めて4科目4単位以上、「表現力の養成」から必修を含めて6科目6単位、「人間力の養成」から必修4科目4単位、「社会力の養成」から必修2科目2単位、「人間の理解」から2科目2単位以上選択、「社会の理解」から2科目2単位以上選択、「国際の理解」から2科目2単位以上選択、合わせて27単位以上を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字**としてください。
 - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「**基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)**」数は、認可時又は届出時の「**専任教員**」数との比較において変更となっている箇所、「**基幹教員以外の教員(助手を除く)**」(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「**専任教員以外の教員(助手を除く)**」)「**数**」は、認可時又は届出時の「**兼任・兼任**」数との比較において変更となっている箇所を**太字**としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなくなったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例：記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・ クラス数調整により、「初年次セミナー」および「人間科学専門演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授5」を「教授4」に変更。
- ・ 全学部全学科共通の方針により「利他共生」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・ 全学部全学科共通の方針により「チームワークとリーダーシップ」を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・ 資格変更(昇格)により、「初年次セミナー」、「創造思考法」、「心理学概論Ⅱ」「教育・学校心理学」、「心理演習(基礎)」、「心理演習(応用)」、「心理実習」、「教育心理学」、「人間科学専門演習Ⅰ～Ⅶ」「フィールドワークⅠ・Ⅱ」の「助教」を1名削減し、「准教授」に1名追加。

【令和6年度】

- ・ クラス数調整により、「初年次セミナー」および「人間科学専門演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」を「教授5」に変更。
- ・ 教員未定により、「問題解決法」を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・ 全学部全学科共通の方針により「表現技法Ⅲ」・「表現技法Ⅳ」・「社会的・職業的自立Ⅰ」・「社会的・職業的自立Ⅱ」を、兼任・兼任教員から専任教員へ変更。
- ・ 令和5年度報告誤植により、「チームワークとリーダーシップ」の役職を正しく修正(助教⇒准教授)。
- ・ 届出時誤植により、「科目区分：人間の理解」の専任教員の数と正しく修正(教授：1⇒0)。
- ・ 「科目区分：国際の理解」を担当する兼任・兼任教員の増加に伴い修正(3⇒5)。
- ・ 「科目区分：展開科目」を担当する兼任・兼任教員の増加に伴い修正(14⇒17)。

【令和7年度】

- ・ 令和7年度より改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)を適用。
- ・ 担当者確定により、「問題解決法」を「兼0」から「教授：1」に変更。
- ・ 全学部全学科共通の方針変更により、「表現技法Ⅳ」を基幹教員等から基幹教員以外の教員へ変更。
- ・ 統括教員の採用により、「社会的・職業的自立Ⅰ」の担当教員に基幹教員以外の教員を1名追加。
- ・ 統括教員の採用により、「社会的・職業的自立Ⅱ」の担当教員に基幹教員以外の教員を1名追加。
- ・ 全学部全学科共通の方針により、「福祉政策と福祉制度」を基幹教員等から基幹教員以外の教員へ変更。
- ・ 学科での検討により、「心理演習(基礎)」を担当する基幹教員等を変更。
- ・ 学科での検討により、「心理演習(応用)」を担当する基幹教員等を変更。
- ・ 届出時誤植により、「高齢者に対する支援」の担当教員を基幹教員以外の教員から基幹教員等へ変更。
- ・ 学科での検討により、「フィールドワークⅠ」を担当する基幹教員等を変更。
- ・ 学科での検討により、「フィールドワークⅡ」を担当する基幹教員等を変更。
- ・ 届出時誤植により、全科目の基幹教員以外の教員数を修正(35⇒46)。
- ・ 「科目区分：表現力の養成」を担当する基幹教員以外の教員の増加に伴い修正(9⇒10)。
- ・ 「科目区分：社会力の養成」を担当する基幹教員以外の教員の増加に伴い修正(0⇒1)。
- ・ 「科目区分：社会の理解」を担当する基幹教員以外の教員の増加に伴い修正(4⇒5)。
- ・ 「科目区分：展開科目」を担当する基幹教員以外の教員の減少に伴い修正(17⇒16)。

- (注) ・ 2(1) ①-④ 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
31 科目	86 科目	0 科目	117 科目	31 科目 []	86 科目 []	0 科目 []	117 科目 []	変更なし

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{117} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考	
区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計			
(1) 校地等	校舎敷地	113,969.36 43,648.64 113,161.92 m ²	0 m ²	0 m ²	113,969.36 43,648.64 113,161.92 m ²	大学全体 ・千葉キャンパス 109,182.41m ² 総合社会学部、 工学部(教養学 部、看護学専 修)専用 内、信用面積: 5,880.96m ² H18.4.19 H24.3.31 ・千葉第二キャンパス 16,774.73m ² 看護学専修専用 内、信用面積: 16,774.73m ² 信用期間: H18.4.19から 29年度 ・埼玉キャンパス 24,810.00m ² 教育学部、地域 創造学部専用 教育学部、地域 創造学部、看護 学部、人文学部 と共用 ・東京キャンパス 15,359.05m ² 工学部、看護学 専修、人文学部 と共用 ・千葉第二キャンパス 16,774.73m ² 看護学専修専用 内、信用面積: 2,029.50m ² 信用期間: H18.4.19から 29年度 目黒区学校用地変更 187.62m ² 増大分 ・その他: 6880.96m ² (6) 法人用地用途変更: 226.72m ² (4) 札幌大学収容基準 6,800m ²	
	運動場用地	82,106.86 m ²	0 m ²	0 m ²	82,106.86 m ²		
	小計	196,076.22 43,648.64 145,267.88 m ²	0 m ²	0 m ²	196,076.22 43,648.64 145,267.88 m ²		
	その他	6,880.96 m ²	0 m ²	0 m ²	6,880.96 m ²		
	合計	202,957.18 43,648.64 159,308.54 m ²	0 m ²	0 m ²	202,957.18 43,648.64 159,308.54 m ²		
(2) 校舎	専用	77,678.52m ² 43,648.64 34,029.88 m ²	0 m ²	0 m ²	77,678.52m ² 43,648.64 34,029.88 m ²	大学全体 ・東京キャンパス 総合社会学部 総合社会学部 工学部 ・札幌区前野町法人用 地を大学施設に用途 変更 (634.59m ²) 及 び短期大学部共同用 地施設改修に伴う用途 変更 (187.19m ²) (7) 厚生補導施設への変 更 (63.50m ²)、短期 大学部との共用 (14.34m ²) (2024年 年度届出) 短期大学部 (2023年 募集停止) 留年者の ため令和6年度まで共 用 (6) ・札幌区前野町日本 語学校施設を大学施設 に用途変更 (997.68m ²) 及び千 葉キャンパス6号館を 老朽化のため取り壊 し (1,597.43m ²) (2022年度届出済) (5) ・東京キャンパス保 生補導施設等の用途 変更による増減 (2024年度届出) (6) ・東京キャンパス校 舎増築計画による増	
	()	(59,613.29m ²)	(13,540.06m ²)	(2101.62m ²)	(75,254.97m ²)		
(3) 教室等	講義室	100室 406室 44室	77室 46室 23室 44室	37室 46室 23室 28室	22室 24室	0室	
	演習室						
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室数			
	人文学部人間科学科			11 室			
(5) 図書・設備	図書	466冊					
	新設学部等の名称	うち外国書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	機本
	人文学部人間科学科	138,409 (2,215)	218 (5)	12,904 (12,897)	2,731	6,984	55
計	138,409 (2,215)	218 (5)	12,904 (12,897)	2,731	6,984	55	
(6) 図書館	面積	6,607m ² 6,607m ² 4,169.77m ²			924 924	612,150 448,628 449,448	
	閲覧座席数						
(7) 体育館	面積	5,051.88m ²					
	体育館以外のスポーツ施設の概要						
(8) 経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設年度	完成年度	共同研究費等は、大 学全体
	役員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	6,780千円	2,560千円	2,560千円
	共同研究費等	15,300千円	15,300千円	設備購入費	17,050千円	3,000千円	3,000千円
	学生1人当り	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
	納付金	1,400千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	— 千円	— 千円
学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

(注) 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA.C.対象学部等の数値を記入してください。)

・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・前年度の報告後から今年度の報告時までに変更があったものについては、変更部分を赤字で見え訓し、修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え訓しのまま記入してください。

・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「(3)教養・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		淑徳大学										収容定員充足率(1倍以下) の学科数	収容定員充足率(1倍以上) の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
総合福祉学部	4	450	-	1800	-	0.94	-	-	昭和40	千葉県千葉市大蔵寺町200				
社会福祉学科	4	200	-	800	学士(社会福祉学)	0.80	-	-	昭和40	同上				
教育福祉学科	4	150	-	600	学士(教育福祉学)	1.05	-	-	平成23	同上				
実践心理学科	4	100	-	400	学士(心理学)	1.08	-	-	平成13	同上				
コミュニティ政策学部	4	95	-	380	-	0.95	-	-	平成22	同上				
コミュニティ政策学科	4	95	-	380	学士(コミュニティ政策学)	0.95	-	-	平成22	同上				
看護栄養学部	4	180	-	720	-	1.04	-	-	平成19	千葉県千葉市中央区八幡町170				
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.06	-	-	平成19	同上				
栄養学科	4	80	-	320	学士(栄養学)	1.03	-	-	平成24	同上				
教育学部	4	150	-	600	-	0.75	-	-	平成25	東京都目黒区三軒が樋1-10-1				
こども教育学科	4	150	-	600	学士(教育学)	0.75	-	-	平成25	同上				
地域創生学館	4	95	-	190	-	0.66	-	-	令和5	同上				
地域創生学館	4	95	-	285	学士(地域創生学)	0.66	-	-	令和5	同上				
経営学部	4	240	-	880	-	1.05	-	令和5	平成24	東京都目黒区三軒が樋1-10-1	令和5年度から埼玉から東京へ移転			
経営学科	4	150	-	560	学士(経営学)	1.01	-	令和5	平成24	同上	令和5年度入学定員変更(110→150)			
観光経営学科	4	90	-	360	学士(観光経営学)	1.10	-	-	平成24	同上				
人文学館	4	245	-	780	-	1.04	-	-	平成26	東京都目黒区三軒が樋1-10-1				
歴史学科	4	60	-	240	学士(文学)	1.12	-	-	平成26	同上				
表現学科	4	85	-	340	学士(文学)	1.02	-	-	平成26	同上				
人間科学科	4	100	-	300	学士(人間科学)	1.00	-	-	令和5	同上				
大学全体	4	1455	-	5585	-	0.95	-	-	-	-				

大学の名称		淑徳大学 短期大学部										収容定員充足率(1倍以下) の学科数	収容定員充足率(1倍以上) の学科数	-
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
こども学科	2	-	-	-	短期大学士(保育・教育)	-	-	-	平成18	東京都目黒区三軒が樋1-10-1	令和5年度入学生より募集停止			
健康福祉学科	2	-	-	-	-	-	-	-	平成3	同上	令和5年度入学生より募集停止			
社会福祉専攻	2	-	-	-	短期大学士(社会福祉)	-	-	-	平成3	同上	令和5年度入学生より募集停止			
介護福祉専攻	2	-	-	-	短期大学士(社会福祉)	-	-	-	平成3	同上	令和5年度入学生より募集停止			
短期大学部全体	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護を付けています。不要な行は、「非表示」設定してください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定してください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」に全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用) IV.3.3収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を赤字にする必要はありません。
 ・「備考」欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご確認ください。

5 教育研究実施組織の状況

<人文学部 人間科学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】
表が複数ページになる場合は、全てのページに表の見出しを入れてください。

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	長谷川 美貴子 <令和5年4月> 修士(社会学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 現代医療と生命倫理 人間科学概論※ 健康科学論Ⅰ 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 障害者に対する支援 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ	専	教授	長谷川 美貴子 <令和5年4月> 修士(社会学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 現代医療と生命倫理 人間科学概論※ 健康科学論Ⅰ 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 障害者に対する支援 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ	専	教授	長谷川 美貴子 <令和5年4月> 修士(社会学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 現代医療と生命倫理 人間科学概論※ 健康科学論Ⅰ 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 障害者に対する支援 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ 社会的・職業的自立Ⅰ 表現技法Ⅳ(企画・立案)	基 (主 専)	教授	長谷川 美貴子 <令和5年4月> 修士(社会学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 現代医療と生命倫理 人間科学概論※ 健康科学論Ⅰ 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 障害者に対する支援 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ 社会的・職業的自立Ⅰ 表現技法Ⅳ(企画・立案) 問題解決法 フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む) フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)
		友田(星野) 貴子 <令和5年4月> 修士(心理学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間科学概論※ 臨床心理学概論 神経・生理心理学 健康・医療心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ			友田(星野) 貴子 <令和5年4月> 修士(心理学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間科学概論※ 臨床心理学概論 神経・生理心理学 健康・医療心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ			友田(星野) 貴子 <令和5年4月> 修士(心理学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間科学概論※ 臨床心理学概論 神経・生理心理学 健康・医療心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ			友田(星野) 貴子 <令和5年4月> 修士(心理学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間科学概論※ 臨床心理学概論 神経・生理心理学 健康・医療心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ
		藤森 雄介 <令和5年4月> 修士(社会福祉学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 利他共生 創造思考法 人間科学概論※ 社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ 人間と仏教 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む)			藤森 雄介 <令和5年4月> 修士(社会福祉学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 利他共生 創造思考法 人間科学概論※ 社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ 人間と仏教 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む)			藤森 雄介 <令和5年4月> 修士(社会福祉学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 利他共生 創造思考法 人間科学概論※ 社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ 人間と仏教 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む)			藤森 雄介 <令和5年4月> 修士(社会福祉学)※ 初年次セミナー(学習の目的と技術) 利他共生 創造思考法 人間科学概論※ 社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ 人間と仏教 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む)

表が複数ページになる場合は、全てのページに表の見出しを入れてください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	永房 典之 <令和5年4月> 修士(教育学) 博士(社会学)	専	教授	永房 典之 <令和5年4月> 修士(教育学) 博士(社会学)	専	教授	永房 典之 <令和5年4月> 修士(教育学) 博士(社会学)	基 (主 専)	教授	永房 典之 <令和5年4月> 修士(教育学) 博士(社会学)
		初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 感情・人格心理学 社会・集団・家族心理学 発達心理学 司法・犯罪心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 感情・人格心理学 社会・集団・家族心理学 発達心理学 司法・犯罪心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 感情・人格心理学 社会・集団・家族心理学 発達心理学 司法・犯罪心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 感情・人格心理学 社会・集団・家族心理学 発達心理学 司法・犯罪心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む)
専	教授	林 芳治 <令和5年4月> 修士(社会福祉学)※	専	教授	林 芳治 <令和5年4月> 修士(社会福祉学)※	専	教授	林 芳治 <令和5年4月> 修士(社会福祉学)※			
		初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 福祉政策と福祉制度 相談援助論 相談援助方法論 地域福祉の理論と方法 高齢者に対する支援 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 福祉政策と福祉制度 相談援助論 相談援助方法論 地域福祉の理論と方法 高齢者に対する支援 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 福祉政策と福祉制度 相談援助論 相談援助方法論 地域福祉の理論と方法 高齢者に対する支援 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ			
専	准教授	中西 一弘 <令和5年4月> 修士(スポーツ健康科学)	専	准教授	中西 一弘 <令和5年4月> 修士(スポーツ健康科学)	専	准教授	中西 一弘 <令和5年4月> 修士(スポーツ健康科学)	基 (主 専)	准教授	中西 一弘 <令和5年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 健康管理と身体活動 スポーツと運動科学 人間科学概論 ※ 健康科学論Ⅱ スポーツ生理学 健康と運動 子どもの身体運動と健康 高齢者の身体運動と健康 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 健康管理と身体活動 スポーツと運動科学 人間科学概論 ※ 健康科学論Ⅱ スポーツ生理学 健康と運動 子どもの身体運動と健康 高齢者の身体運動と健康 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 健康管理と身体活動 スポーツと運動科学 人間科学概論 ※ 健康科学論Ⅱ スポーツ生理学 健康と運動 子どもの身体運動と健康 高齢者の身体運動と健康 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 健康管理と身体活動 スポーツと運動科学 人間科学概論 ※ 健康科学論Ⅱ スポーツ生理学 健康と運動 子どもの身体運動と健康 高齢者の身体運動と健康 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ

表が複数ページになる場合は、全てのページに表の見出しを入れてください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	常深 浩平 <令和5年4月> 修士(教育学) 博士(教育学)	専	准教授	常深 浩平 <令和5年4月> 修士(教育学) 博士(教育学)	専	准教授	常深 浩平 <令和5年4月> 修士(教育学) 博士(教育学)	基 (主 専)	准教授	常深 浩平 <令和5年4月> 修士(教育学) 博士(教育学)
		初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間科学概論 ※ 教育学概論 I 心理的アセスメント実習 知覚・認知心理学 学習・言語心理学 教育相談 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間科学概論 ※ 教育学概論 I 心理的アセスメント実習 知覚・認知心理学 学習・言語心理学 教育相談 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間科学概論 ※ 教育学概論 I 心理的アセスメント実習 知覚・認知心理学 学習・言語心理学 教育相談 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII 社会的・職業的自立 II 表現技法 III (発表・討論)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間科学概論 ※ 教育学概論 I 心理的アセスメント実習 知覚・認知心理学 学習・言語心理学 教育相談 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII 社会的・職業的自立 II 表現技法 III (発表・討論) フィールドワーク I (事前事後学習を含む) フィールドワーク II (事前事後学習を含む)
専	准教授	武内 智弥 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(心理学)	専	准教授	武内 智弥 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(心理学)	専	准教授	武内 智弥 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(心理学)	基 (主 専)	准教授	武内 智弥 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(心理学)
		初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 心理的アセスメント実習 心理的アセスメント 心理学的支援法 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 心理的アセスメント実習 心理的アセスメント 心理学的支援法 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 心理的アセスメント実習 心理的アセスメント 心理学的支援法 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 心理的アセスメント実習 心理的アセスメント 心理学的支援法 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII
専	助教	松本 良恵 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(社会福祉学)	専	助教	松本 良恵 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(社会福祉学)	専	助教	松本 良恵 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(社会福祉学)	基 (主 専)	助教	松本 良恵 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(社会福祉学)
		初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 統計分析法 人間行動論 心理学概論 I 心理学統計法 心理学実験 心理学基礎実験 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII フィールドワーク I (事前事後学習を含む) フィールドワーク II (事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 統計分析法 人間行動論 心理学概論 I 心理学統計法 心理学実験 心理学基礎実験 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII フィールドワーク I (事前事後学習を含む) フィールドワーク II (事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 統計分析法 人間行動論 心理学概論 I 心理学統計法 心理学実験 心理学基礎実験 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII フィールドワーク I (事前事後学習を含む) フィールドワーク II (事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 統計分析法 人間行動論 心理学概論 I 心理学統計法 心理学実験 心理学基礎実験 人間科学専門演習 I 人間科学専門演習 II 人間科学専門演習 III 人間科学専門演習 IV 人間科学専門演習 V 人間科学専門演習 VI 人間科学専門演習 VII フィールドワーク I (事前事後学習を含む) フィールドワーク II (事前事後学習を含む)

表が複数ページになる場合は、全てのページに表の見出しを入れてください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	田中 元基 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(社会福祉学)	専	助教	田中 元基 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(社会福祉学)	専	助教	田中 元基 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(社会福祉学)	基(主専)	助教	田中 元基 <令和5年4月> 修士(心理学) 博士(社会福祉学)
		初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間心理と人間行動 心理学研究法 障害者・障害児心理学 福祉心理学 関係行政論 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む) フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間心理と人間行動 心理学研究法 障害者・障害児心理学 福祉心理学 関係行政論 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む) フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間心理と人間行動 心理学研究法 障害者・障害児心理学 福祉心理学 関係行政論 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む) フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 人間心理と人間行動 心理学研究法 障害者・障害児心理学 福祉心理学 関係行政論 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む) フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む) 心理的アセスメント実習
専	助教	吉森(小荷田)丹衣子 <令和5年4月> 修士(臨床心理学)	専	准教授	吉森(小荷田)丹衣子 <令和5年4月> 修士(臨床心理学)	専	准教授	吉森(小荷田)丹衣子 <令和5年4月> 修士(臨床心理学)	基(主専)	准教授	吉森(小荷田)丹衣子 <令和5年4月> 修士(臨床心理学)
		初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 心理学概論Ⅱ 教育・学校心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 教育心理学 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む) フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 チームワークとリーダーシップ 心理学概論Ⅱ 教育・学校心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 教育心理学 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む) フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 チームワークとリーダーシップ 心理学概論Ⅱ 教育・学校心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 教育心理学 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む) フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)			初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 チームワークとリーダーシップ 心理学概論Ⅱ 教育・学校心理学 心理演習(基礎) 心理演習(応用) 心理実習 教育心理学 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む) フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)
兼任	教授	白寄 まゆみ <令和5年4月> 修士(国際経営学)	兼任	教授	白寄 まゆみ <令和5年4月> 修士(国際経営学)	兼任	教授	白寄 まゆみ <令和5年4月> 修士(国際経営学)	その他	教授	白寄 まゆみ <令和5年4月> 修士(国際経営学)
		表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(作文・論文) 表現技法Ⅲ(発表・討論) 表現技法Ⅳ(企画・立案)			表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(作文・論文) 表現技法Ⅲ(発表・討論) 表現技法Ⅳ(企画・立案)			表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(作文・論文) 表現技法Ⅲ(発表・討論) 表現技法Ⅳ(企画・立案)			表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(作文・論文) 表現技法Ⅲ(発表・討論) 表現技法Ⅳ(企画・立案)
兼任	教授	遠藤 孝夫 <令和6年4月> 教育学修士※	兼任	教授	遠藤 孝夫 <令和6年4月> 教育学修士※	兼任	教授	遠藤 孝夫 <令和6年4月> 教育学修士※			遠藤 孝夫 <令和6年4月> 教育学修士※
		地域活動と社会貢献			地域活動と社会貢献			地域活動と社会貢献			
兼任	教授	星野 英樹 <令和7年9月> 文学修士	兼任	教授	星野 英樹 <令和7年9月> 文学修士	兼任	教授	星野 英樹 <令和7年9月> 文学修士	その他	講師	星野 英樹 <令和7年9月> 文学修士
		心理描写研究			心理描写研究			心理描写研究			心理描写研究

表が複数ページになる場合は、全てのページに表の見出しを入れてください。

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名						担当授業科目名
兼任	教授	浜野 兼一 ＜令和5年9月＞ 修士（教育学）※	浜野 兼一 ＜令和5年9月＞ 修士（教育学）※	浜野 兼一 ＜令和5年9月＞ 修士（教育学）※	浜野 兼一 ＜令和5年9月＞ 修士（教育学）※	その他	教授	浜野 兼一 ＜令和5年9月＞ 修士（教育学）※
		教育学概論Ⅱ	教育学概論Ⅱ	教育学概論Ⅱ	教育学概論Ⅱ			教育学概論Ⅱ
兼任	准教授	鈴木 織恵 ＜令和5年9月＞ 修士（日本史学）※	鈴木 織恵 ＜令和5年9月＞ 修士（日本史学）※	鈴木 織恵 ＜令和5年9月＞ 修士（日本史学）※	鈴木 織恵 ＜令和5年9月＞ 修士（日本史学）※	その他	准教授	鈴木 織恵 ＜令和5年9月＞ 修士（日本史学）※
		日本社会と歴史文化	日本社会と歴史文化	日本社会と歴史文化	日本社会と歴史文化			日本社会と歴史文化
兼任	講師	石川 恵理子 ＜令和5年4月＞ 文学士	石川 恵理子 ＜令和5年4月＞ 文学士	石川 恵理子 ＜令和5年4月＞ 文学士	石川 恵理子 ＜令和5年4月＞ 文学士			
		情報リテラシー データリテラシー	情報リテラシー データリテラシー	情報リテラシー データリテラシー	情報リテラシー データリテラシー			
兼任	講師	松本 英美 ＜令和5年4月＞ 芸術学士	松本 英美 ＜令和5年4月＞ 芸術学士	松本 英美 ＜令和5年4月＞ 芸術学士	松本 英美 ＜令和5年4月＞ 芸術学士	その他	講師	松本 英美 ＜令和5年4月＞ 芸術学士
		情報リテラシー データリテラシー	情報リテラシー データリテラシー	情報リテラシー データリテラシー	情報リテラシー データリテラシー			情報リテラシー データリテラシー
兼任	講師	佐藤 秀樹 ＜令和7年9月＞ 修士（農学） 博士（農学）	佐藤 秀樹 ＜令和7年9月＞ 修士（農学） 博士（農学）	佐藤 秀樹 ＜令和7年9月＞ 修士（農学） 博士（農学）	佐藤 秀樹 ＜令和7年9月＞ 修士（農学） 博士（農学）			
		問題解決法	問題解決法	問題解決法	問題解決法			
兼任	講師	大村 智一 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	大村 智一 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	大村 智一 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	大村 智一 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	その他	講師	大村 智一 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）
		コミュニケーション英語Ⅰ（基礎） コミュニケーション英語Ⅱ（応用） コミュニケーション英語Ⅲ（実践） コミュニケーション英語Ⅳ（実践）	コミュニケーション英語Ⅰ（基礎） コミュニケーション英語Ⅱ（応用） コミュニケーション英語Ⅲ（実践） コミュニケーション英語Ⅳ（実践）	コミュニケーション英語Ⅰ（基礎） コミュニケーション英語Ⅱ（応用） コミュニケーション英語Ⅲ（実践） コミュニケーション英語Ⅳ（実践）	コミュニケーション英語Ⅰ（基礎） コミュニケーション英語Ⅱ（応用） コミュニケーション英語Ⅲ（実践） コミュニケーション英語Ⅳ（実践）			コミュニケーション英語Ⅰ（基礎） コミュニケーション英語Ⅱ（応用） コミュニケーション英語Ⅲ（実践） コミュニケーション英語Ⅳ（実践）
兼任	講師	甲田 直喜 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※	甲田 直喜 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※	甲田 直喜 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※	甲田 直喜 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※			
		コミュニケーション英語Ⅰ（基礎） コミュニケーション英語Ⅱ（応用） コミュニケーション英語Ⅲ（実践） コミュニケーション英語Ⅳ（実践）	コミュニケーション英語Ⅰ（基礎） コミュニケーション英語Ⅱ（応用） コミュニケーション英語Ⅲ（実践） コミュニケーション英語Ⅳ（実践）	コミュニケーション英語Ⅰ（基礎） コミュニケーション英語Ⅱ（応用） コミュニケーション英語Ⅲ（実践） コミュニケーション英語Ⅳ（実践）	コミュニケーション英語Ⅰ（基礎） コミュニケーション英語Ⅱ（応用） コミュニケーション英語Ⅲ（実践） コミュニケーション英語Ⅳ（実践）			
兼任	講師	小原 佳那子 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※	小原 佳那子 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※	小原 佳那子 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※	小原 佳那子 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※	その他	講師	小原 佳那子 ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※
		表現技法Ⅰ（読解・分析） 表現技法Ⅱ（作文・論文） 表現技法Ⅲ（発表・討論） 表現技法Ⅳ（企画・立案） 表現技法Ⅴ（プレゼンテーション）	表現技法Ⅰ（読解・分析） 表現技法Ⅱ（作文・論文） 表現技法Ⅲ（発表・討論） 表現技法Ⅳ（企画・立案） 表現技法Ⅴ（プレゼンテーション）	表現技法Ⅰ（読解・分析） 表現技法Ⅱ（作文・論文） 表現技法Ⅲ（発表・討論） 表現技法Ⅳ（企画・立案） 表現技法Ⅴ（プレゼンテーション）	表現技法Ⅰ（読解・分析） 表現技法Ⅱ（作文・論文） 表現技法Ⅲ（発表・討論） 表現技法Ⅳ（企画・立案） 表現技法Ⅴ（プレゼンテーション）			表現技法Ⅰ（読解・分析） 表現技法Ⅱ（作文・論文） 表現技法Ⅲ（発表・討論） 表現技法Ⅳ（企画・立案） 表現技法Ⅴ（プレゼンテーション）

表が複数ページになる場合は、全てのページに表の見出しを入れてください。

専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	吉川 浩満 <令和5年4月> 学士(総合政策学)	兼任	講師	吉川 浩満 <令和5年4月> 学士(総合政策学)						
		自己管理と社会規範			自己管理と社会規範						
兼任	講師	片上 絵梨子 <令和5年9月> 修士(Master of Sport 博士(スポーツ科学))	兼任	講師	片上 絵梨子 <令和6年9月> 修士(Master of Sport 博士(スポーツ科学))	兼任	講師	片上 絵梨子 <令和6年9月> 修士(Master of Sport 博士(スポーツ科学))			
		チームワークとリーダシップ スポーツ心理学			スポーツ心理学			スポーツ心理学			
兼任	講師	守屋 眞二 <令和6年9月> 修士(社会デザイン学) 修士(異文化コミュニケーション学)	兼任	講師	守屋 眞二 <令和6年9月> 修士(社会デザイン学) 修士(異文化コミュニケーション学)						
		他者理解と信頼関係			他者理解と信頼関係						
兼任	講師	南 美樹 <令和6年4月> 法学士 学士(人間学)	兼任	講師	南 美樹 <令和6年4月> 法学士 学士(人間学)						
		社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ			社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ						
兼任	講師	松倉 佳子 <令和6年4月> 修士(社会福祉学)※	兼任	講師	松倉 佳子 <令和6年4月> 修士(社会福祉学)※	兼任	講師	松倉 佳子 <令和6年4月> 修士(社会福祉学)※	その他	講師	松倉 佳子 <令和6年4月> 修士(社会福祉学)※
		現代家族と育児介護			現代家族と育児介護			現代家族と育児介護			
兼任	講師	田嶋 晴彦 <令和6年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	田嶋 晴彦 <令和6年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	田嶋 晴彦 <令和6年4月> 博士(薬学)	その他	講師	田嶋 晴彦 <令和6年4月> 博士(薬学)
		生命科学と物理化学 地球環境と環境対策			生命科学と物理化学 地球環境と環境対策			生命科学と物理化学 地球環境と環境対策			
兼任	講師	加藤 徹郎 <令和5年4月> 修士(社会学)※	兼任	講師	加藤 徹郎 <令和5年4月> 修士(社会学)※	兼任	講師	加藤 徹郎 <令和5年4月> 修士(社会学)※	その他	講師	加藤 徹郎 <令和5年4月> 修士(社会学)※
		情報社会とデータサイエンス			情報社会とデータサイエンス			情報社会とデータサイエンス 情報リテラシー データリテラシー			
兼任	講師	小宮 司 <令和5年4月> 法学士	兼任	講師	小宮 司 <令和5年4月> 法学士						
		法律社会と法律問題			法律社会と法律問題						

表が複数ページになる場合は、全てのページに表の見出しを入れてください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	教員区分	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	村井 洋 〈令和6年4月〉 博士(政治学)	兼任	講師	村井 洋 〈令和6年4月〉 博士(政治学)	兼任	講師	村井 洋 〈令和6年4月〉 博士(政治学)	その他	講師	村井 洋 〈令和6年4月〉 博士(政治学)
		日本国家と政治行政			日本国家と政治行政			日本国家と政治行政			日本国家と政治行政
兼任	講師	三浦 留美 〈令和5年9月〉 修士(経済学) 博士(経済学)	兼任	講師	三浦 留美 〈令和5年9月〉 修士(経済学) 博士(経済学)	兼任	講師	三浦 留美 〈令和5年9月〉 修士(経済学) 博士(経済学)	その他	講師	三浦 留美 〈令和5年9月〉 修士(経済学) 博士(経済学)
		経済構造と経済政策			経済構造と経済政策			経済構造と経済政策			経済構造と経済政策
兼任	講師	幸加木 文 〈令和5年4月〉 修士(国際学) 博士(学術)	兼任	講師	幸加木 文 〈令和5年4月〉 修士(国際学) 博士(学術)						
		国際社会と国際問題 世界動向と国際貢献 国際平和と安全保障 国際関係と日本外交			国際社会と国際問題 世界動向と国際貢献 国際平和と安全保障 国際関係と日本外交						
兼任	講師	名和 清隆 〈令和5年4月〉 修士(宗教学) ※	兼任	講師	名和 清隆 〈令和5年4月〉 修士(宗教学) ※	兼任	講師	名和 清隆 〈令和5年4月〉 修士(宗教学) ※	その他	講師	名和 清隆 〈令和5年4月〉 修士(宗教学) ※
		世界宗教と民族問題 人間と哲学 人間と倫理 人間と思想			世界宗教と民族問題 人間と哲学 人間と倫理 人間と思想			世界宗教と民族問題 人間と哲学 人間と倫理 人間と思想			世界宗教と民族問題 人間と哲学 人間と倫理 人間と思想
兼任	講師	坪井 菜奈子 〈令和6年9月〉 修士(臨床心理学) ※	兼任	講師	坪井 菜奈子 〈令和6年9月〉 修士(臨床心理学) ※	兼任	講師	坪井 菜奈子 〈令和6年9月〉 修士(臨床心理学) ※	その他	講師	坪井 菜奈子 〈令和6年9月〉 修士(臨床心理学) ※
		公認心理師の職責 心理学基礎実験 心理的アセスメント実習			公認心理師の職責 心理学基礎実験 心理的アセスメント実習			公認心理師の職責 心理学基礎実験 心理的アセスメント実習 心理学基礎実験 心理的アセスメント実習 ストレスマネジメント			公認心理師の職責 心理学基礎実験 心理的アセスメント実習 心理学基礎実験 心理的アセスメント実習 ストレスマネジメント
兼任	講師	横山 舜 〈令和6年9月〉 修士(心理学)	兼任	講師	横山 舜 〈令和6年9月〉 修士(心理学)						
		ストレスマネジメント 心理学基礎実験 心理的アセスメント実習			ストレスマネジメント 心理学基礎実験 心理的アセスメント実習						
兼任	講師	岩本(大久保) 慧悟 〈令和6年9月〉 学士(行動科学)	兼任	講師	岩本(大久保) 慧悟 〈令和6年9月〉 学士(行動科学)	兼任	講師	岩本(大久保) 慧悟 〈令和6年9月〉 修士(社会心理学) 心理学基礎実験	その他	講師	岩本(大久保) 慧悟 〈令和6年9月〉 修士(社会心理学) 心理学基礎実験
		心理学基礎実験			心理学基礎実験			心理学基礎実験			心理学基礎実験
兼任	講師	土屋(青木) 裕希乃 〈令和7年4月〉 修士(心理学) ※	兼任	講師	土屋(青木) 裕希乃 〈令和7年4月〉 修士(心理学) ※	兼任	講師	土屋(青木) 裕希乃 〈令和7年4月〉 修士(心理学) ※	その他	講師	土屋(青木) 裕希乃 〈令和7年4月〉 修士(心理学) ※
		産業・組織心理学 恋愛心理学			産業・組織心理学 恋愛心理学			産業・組織心理学 恋愛心理学			産業・組織心理学 恋愛心理学
兼任	講師	佐藤 麻衣 〈令和6年9月〉 修士(社会福祉学) 博士(社会福祉学)	兼任	講師							
		家族社会論									
兼任	講師	渡邊 歩 〈令和5年9月〉 修士(教育学) 博士(教育学)	兼任	講師	渡邊 歩 〈令和5年9月〉 修士(教育学) 博士(教育学)	兼任	講師	渡邊 歩 〈令和5年9月〉 修士(教育学) 博士(教育学) ジェンダー論	その他	講師	渡邊 歩 〈令和5年9月〉 修士(教育学) 博士(教育学) ジェンダー論
		ジェンダー論			ジェンダー論			ジェンダー論			ジェンダー論

表が複数ページになる場合は、全てのページに表の見出しを入れてください。

専任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	教員区分	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 陽一 〈令和7年4月〉 修士(社会福祉学) 児童に対する支援 家庭に対する支援	兼任	講師	伊藤 陽一 〈令和7年4月〉 修士(社会福祉学) 児童に対する支援 家庭に対する支援	兼任	講師	伊藤 陽一 〈令和7年4月〉 修士(社会福祉学) 児童に対する支援 家庭に対する支援	その他	講師	伊藤 陽一 〈令和7年4月〉 修士(社会福祉学) 児童に対する支援 家庭に対する支援
兼任	講師	濱谷(柳田) 亮子 〈令和5年9月〉 修士(家政学) 博士(医学) 栄養学 健康と栄養	兼任	講師	濱谷(柳田) 亮子 〈令和5年9月〉 修士(家政学) 博士(医学) 栄養学 健康と栄養	兼任	講師	濱谷(柳田) 亮子 〈令和5年9月〉 修士(家政学) 博士(医学) 栄養学 健康と栄養	その他	講師	濱谷(柳田) 亮子 〈令和5年9月〉 修士(家政学) 博士(医学) 栄養学 健康と栄養
兼任	講師	野瀬 英豪 〈令和7年4月〉 修士(体育学) スポーツビジネス	兼任	講師	野瀬 英豪 〈令和7年4月〉 修士(体育学) スポーツビジネス	兼任	講師	野瀬 英豪 〈令和7年4月〉 修士(体育学) スポーツビジネス	その他	講師	野瀬 英豪 〈令和7年4月〉 修士(体育学) スポーツビジネス
兼任	講師	辻 和希 〈令和6年4月〉 修士(教育学) 教育哲学	兼任	講師	辻 和希 〈令和6年4月〉 修士(教育学) 教育哲学	兼任	講師	辻 和希 〈令和6年4月〉 修士(教育学) 教育哲学	その他	講師	辻 和希 〈令和6年4月〉 修士(教育学) 教育哲学
兼任	講師	河野 志穂 〈令和6年4月〉 修士(文学) ※ 教育社会学 日本の教育事情	兼任	講師	河野 志穂 〈令和6年4月〉 修士(文学) ※ 教育社会学 日本の教育事情						
兼任	講師	永井 亮 〈令和7年4月〉 修士(社会福祉学) ※ こどもの生活環境 こどもの権利擁護	兼任	講師	永井 亮 〈令和7年4月〉 修士(社会福祉学) ※ こどもの生活環境 こどもの権利擁護	兼任	講師	永井 亮 〈令和7年4月〉 修士(社会福祉学) ※ こどもの生活環境 こどもの権利擁護	その他	講師	永井 亮 〈令和7年4月〉 修士(社会福祉学) ※ こどもの生活環境 こどもの権利擁護
			兼任	講師	亀山 友理子 〈令和5年4月〉 博士(教育学) 国際社会と国際問題	兼任	講師	亀山 友理子 〈令和5年4月〉 博士(教育学) 国際社会と国際問題	その他	講師	亀山 友理子 〈令和5年4月〉 博士(教育学) 国際社会と国際問題
			兼任	講師	石井 雅浩 〈令和5年4月〉 修士(法学) 世界動向と国際貢献	兼任	講師	石井 雅浩 〈令和5年4月〉 修士(法学) 世界動向と国際貢献	その他	講師	石井 雅浩 〈令和5年4月〉 修士(法学) 世界動向と国際貢献
			兼任	講師	清水 文枝 〈令和5年4月〉 博士(政治学) 国際平和と安全保障 国際関係と日本外交	兼任	講師	清水 文枝 〈令和5年4月〉 博士(政治学) 国際平和と安全保障 国際関係と日本外交	その他	講師	清水 文枝 〈令和5年4月〉 博士(政治学) 国際平和と安全保障 国際関係と日本外交
						兼任	講師	保田 幸子 〈令和6年4月〉 修士(工学) 博士(工学) 自己管理と社会規範			
						兼任	講師	酒井 信一郎 〈令和6年9月〉 修士(社会学) 他者理解と信頼関係	その他	講師	酒井 信一郎 〈令和6年9月〉 修士(社会学) 他者理解と信頼関係
						兼任	講師	鶴 恒介 〈令和6年4月〉 修士(法学) 法律社会と法律問題	その他	講師	鶴 恒介 〈令和6年4月〉 修士(法学) 法律社会と法律問題
						兼任	講師	菊川 由美 〈令和6年9月〉 修士(心理学) 心理学基礎実験 心理的アセスメント実習	その他	講師	菊川 由美 〈令和6年9月〉 修士(心理学) 心理学基礎実験 心理的アセスメント実習

表が複数ページになる場合は、全てのページに表の見出しを入れてください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	江島 ゆう花 <令和6年4月> 修士(社会学) 修士(東アジア地域研究学) 家族社会学	その他	講師	江島 ゆう花 <令和6年4月> 修士(社会学) 修士(東アジア地域研究学) 家族社会学
						兼任	講師	青木 一 <令和6年4月> 修士(教育学)※ 教育社会学	その他	講師	青木 一 <令和6年4月> 修士(教育学)※ 教育社会学
						兼任	講師	阿部 雅子 <令和6年4月> 修士(経営管理学) 修士(教育学) 日本の教育事情	その他	講師	阿部 雅子 <令和6年4月> 修士(経営管理学) 修士(教育学) 日本の教育事情
						兼任	講師	今村 有里 <令和6年4月> 修士(芸術)※ コミュニケーション英語Ⅰ(基礎) コミュニケーション英語Ⅱ(応用)	その他	助教	今村 有里 <令和6年4月> 修士(芸術)※ コミュニケーション英語Ⅰ(基礎) コミュニケーション英語Ⅱ(応用)
						兼任	教授	畑江 美佳 <令和6年4月> 修士(文化情報学)※ 博士(総合社会文化学)※ コミュニケーション英語Ⅳ(実践)	その他	教授	畑江 美佳 <令和6年4月> 修士(文化情報学)※ 博士(総合社会文化学)※ コミュニケーション英語Ⅳ(実践)
						兼任	講師	Jonathan Hammond <令和6年4月> 学士(文学) コミュニケーション英語Ⅰ(基礎) コミュニケーション英語Ⅱ(応用) コミュニケーション英語Ⅲ(実践)	その他	講師	Jonathan Hammond <令和6年4月> 学士(文学) コミュニケーション英語Ⅰ(基礎) コミュニケーション英語Ⅱ(応用) コミュニケーション英語Ⅲ(実践)
						兼任	講師	金谷 永美子 <令和6年4月> 修士(英語学) コミュニケーション英語Ⅰ(基礎) コミュニケーション英語Ⅱ(応用) コミュニケーション英語Ⅲ(実践)	その他	講師	金谷 永美子 <令和6年4月> 修士(英語学) コミュニケーション英語Ⅰ(基礎) コミュニケーション英語Ⅱ(応用) コミュニケーション英語Ⅲ(実践)
						兼任	講師	潮田 晃子 <令和6年4月> 学士(人間学) コミュニケーション英語Ⅰ(基礎) コミュニケーション英語Ⅱ(応用) コミュニケーション英語Ⅲ(実践)	その他	講師	潮田 晃子 <令和6年4月> 学士(人間学) コミュニケーション英語Ⅰ(基礎) コミュニケーション英語Ⅱ(応用) コミュニケーション英語Ⅲ(実践)
						兼任	講師	岡本 準子 <令和6年4月> 学士(外国文化学) 表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(作文・論文)	その他	講師	岡本 準子 <令和6年4月> 学士(外国文化学) 表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(作文・論文)

表が複数ページになる場合は、全てのページに表の見出しを入れてください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	深澤 進 <令和6年4月> 修士(学術学) 情報リテラシー データリテラシー	その他	講師	深澤 進 <令和6年4月> 修士(学術学) 情報リテラシー データリテラシー
									基(主専)	教授	稲垣 美加子 <令和7年4月> 修士(社会福祉学) 初年次セミナー(学習の目的と技術) 創造思考法 相談援助論 相談援助方法論 地域福祉の理論と方法 高齢者に対する支援 人間科学専門演習Ⅰ 人間科学専門演習Ⅱ 人間科学専門演習Ⅲ 人間科学専門演習Ⅳ 人間科学専門演習Ⅴ 人間科学専門演習Ⅵ 人間科学専門演習Ⅶ フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む) フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む)
									その他	教授	矢幅 清司 <令和7年9月> 修士(教育学) 福祉政策と福祉制度
									その他	教授	鈴木 敏彦 <令和7年4月> 修士(社会福祉学) 地域活動と社会貢献
									その他	准教授	小山 知子 <令和7年4月> 修士(キャリアデザイン学) 社会的・職業的自立Ⅰ 社会的・職業的自立Ⅱ
									その他	教授	杉原 亨 <令和7年4月> 士(ライブラリーサイエンス) 情報リテラシー データリテラシー
									その他	講師	佐藤 有貴 <令和7年4月> 修士(文学) 表現技法Ⅳ(企画・立案) 表現技法Ⅴ(プレゼンテーション)
									その他	講師	北橋 達朗 <令和7年9月> 修士(スポーツ健康科学) スポーツ心理学
									その他	講師	高村 絵里子 <令和7年4月> 博士(文学) 自己管理と社会規範

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合に専任教員)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員を含む。))を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
 - 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
 - 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
 - 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・クラス数調整により、「初年次セミナー」および「人間科学専門演習Ⅰ」の長谷川美貴子教授担当削除。
- ・届出時誤植により、年齢修正 専任教員(助教) 田中元基(38→37)、兼任講師 三浦留美(56→55)、兼任講師坪井菜奈子(41→40)、兼任講師渡邊歩(34→33)、兼任講師永井亮(51→53)
- ・全学部全学科共通の方針により「チームワークとリーダーシップ」を片上絵梨子兼任講師から専任教員(吉森丹衣子)に変更。
- ・幸加木文兼任講師の一部科目担当辞退により、亀山友理子兼任講師、石井雅浩兼任講師、清水文枝兼任講師を採用。
- ・佐藤麻衣兼任講師就任辞退。後任未定であるが、令和6年9月兼任講師採用公募予定。
- ・河野志穂兼任講師就任辞退。後任未定であるが、令和6年4月兼任講師採用公募予定。

【令和6年度】

- ・クラス数調整により、「初年次セミナー」および「人間科学専門演習Ⅰ」について、長谷川美貴子教授追加。
- ・全学部全学科共通の方針により「社会的・職業的自立Ⅰ」を兼任講師(南美樹)から専任教員(長谷川美貴子)に変更。
- ・全学部全学科共通の方針により「社会的・職業的自立Ⅱ」を兼任講師(南美樹)から専任教員(常深浩平)に変更。
- ・全学部全学科共通の方針により「表現技法Ⅲ(発表・討論)」を兼任講師(白寄まゆみ・小原佳那子)から専任教員(常深浩平)に変更。
- ・全学部全学科共通の方針により「表現技法Ⅳ(企画・立案)」を兼任講師(白寄まゆみ・小原佳那子)から専任教員(長谷川美貴子)に変更。
- ・佐藤秀樹兼任講師「問題解決法」の就任辞退。後任未定であるが、令和6年9月兼任講師採用公募予定。
- ・全学部全学科共通の方針により「コミュニケーション英語Ⅳ(実践)」を兼任講師(大村智一・甲田直喜)から兼任教員(畑江美佳)に変更。
- ・甲田直喜兼任講師「コミュニケーション英語Ⅰ(基礎)」・「コミュニケーション英語Ⅱ(応用)」・「コミュニケーション英語Ⅲ(実践)」の就任辞退。
- ・今村有里兼任講師、Jonathan Hammond兼任講師、金谷永美子兼任講師、潮田晃子兼任講師を採用。
- ・吉川浩満兼任講師「自己管理と社会規範」の就任辞退。保田幸子兼任講師を採用。
- ・守屋真二兼任講師「他者理解と信頼関係」の就任辞退。酒井信一郎兼任講師を採用。
- ・クラス数調整により、「情報リテラシー」・「情報リテラシー」について、加藤徹郎兼任講師追加。
- ・小宮司兼任講師「法律社会と法律問題」の就任辞退。鶴恒介兼任講師を採用。
- ・幸加木文兼任講師「国際関係と日本外交」の就任辞退。清水文枝兼任講師に担当変更。
- ・坪井菜奈子兼任講師「心理学基礎実験」の担当辞退。後任未定であるが、令和6年9月兼任講師採用公募予定。
- ・横山舜兼任講師「ストレスマネジメント」・「心理学基礎実験」・「心理的アセスメント実習」の就任辞退。
- ・坪井菜奈子兼任講師「ストレスマネジメント」に担当変更。菊川由美兼任講師「心理学基礎実験」・「心理的アセスメント実習」を採用。
- ・佐藤麻衣兼任講師「家族社会論」の就任辞退。江島ゆう花兼任講師を採用。
- ・学位修得(令和4年3月)により、岩本(大久保) 慧悟兼任講師の保有学位を変更(学士(行動科学)⇒修士(社会心理学))
- ・届出時誤植により、渡邊歩兼任講師の保有学位を変更(博士(教育学)を削除)
- ・届出時誤植により、濱谷(柳田) 亮子兼任講師の保有学位を変更(博士(医学)を削除)
- ・河野志穂兼任講師「教育社会学」・「日本の教育事情」の就任辞退。青木一「教育社会学」兼任講師・阿部雅子「日本の教育事情」兼任講師を採用。
- ・クラス数調整により、「表現技法Ⅰ(読解・分析)」・「表現技法Ⅱ(作文・論文)」について、岡本準子兼任講師を採用。
- ・クラス数調整により、「情報リテラシー」・「情報リテラシー」について、深澤進兼任講師を採用。

【令和7年度】

- ・基幹(専任)教員(林芳治)の一身上の都合による退職に伴い、「福祉政策と福祉制度」を除く全科目を基幹(専任)教員(稲垣美加子)に変更。
- ・全学部全学科共通の方針により「福祉政策と福祉制度」を基幹(専任)教員(林芳治)からその他教員(矢幅清司)に変更。
- ・全学部全学科共通の方針により「表現技法Ⅳ」を基幹(専任)教員(長谷川美貴子)からその他教員(佐藤有貴)に変更。
- ・全学部全学科共通の方針により「問題解決法」をその他教員(教員未定)から基幹(専任)教員(長谷川美貴子)に変更。
- ・人間科学科による検討の結果、「フィールドワークⅠ」の担当教員を基幹(専任)教員内で担当変更。
- ・変更前: 藤森雄介/松本良恵/田中元基/吉森丹衣子 ⇒ 変更後: 長谷川美貴子/永房典之/常深浩平/稲垣美加子
- ・人間科学科による検討の結果、「フィールドワークⅡ」の担当教員を基幹(専任)教員内で担当変更。
- ・変更前: 永房典之/松本良恵/田中元基/吉森丹衣子 ⇒ 変更後: 長谷川美貴子/永房典之/常深浩平/稲垣美加子
- ・人間科学科による検討の結果、「心理実習」の担当教員から基幹(専任)教員(友田貴子・永房典之)を削除。
- ・人間科学科による検討の結果、「心理演習(基礎)」の担当教員から基幹(専任)教員(永房典之・田中元基)を削除。
- ・人間科学科による検討の結果、「心理的アセスメント実習」の担当教員を基幹(専任)教員(常深浩平)から基幹(専任)教員(田中元基)に変更。
- ・全学部全学科共通の方針により「地域活動と社会貢献」をその他教員(遠藤孝夫)からその他教員(鈴木敏彦)に変更。
- ・基幹(専任)教員(星野英樹)「心理描写研究」の定年退職に伴い、その他教員(星野英樹)として採用。
- ・その他教員(石川恵理子)「情報リテラシー」・「データリテラシー」の就任辞退。その他教員(杉原亨)に担当変更。
- ・全学部全学科共通の方針により「表現技法Ⅴ」をその他教員(小原佳那子)からその他教員(佐藤有貴)に変更。
- ・全学部全学科共通の方針により「社会的・職業的自立Ⅰ」・「社会的・職業的自立Ⅱ」にその他教員(小山知子)を追加。
- ・その他教員(片上絵梨子)「スポーツ心理学」の就任辞退。その他教員(北橋達朗)に担当変更。
- ・その他教員(坪井菜奈子)「心理学基礎実験」の就任辞退後、都合の調整がついたことから改めて就任。
- ・その他教員(保田幸子)「自己管理と社会規範」の就任辞退。その他教員(鳥村絵里子)に担当変更。

(注) 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。

- なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いです。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります)
- ・A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-③ 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
8 名	4 名	6 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計「A」)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計「B」)	助手(B')
5	3	0	3	11	11	0	5	4	0	2	11	11	0
(5)	(3)	(0)	(3)	(11)	(11)	0							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計「C」)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計「D」)	助手(D')
5	4	0	2	11	11	0	5	4	0	2	11	11	0
[0]	[+1]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[+1]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)(A)」欄には「-」を記入してください。
・現在(報告時)の状況には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・**現在(報告時)の完成年度時の状況には、認可で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)**
・現在(報告時)の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階まで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{11} = 100\%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{11}{11} = 100\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{11} = 0\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由
 (3)-① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹(専任)教員氏名	時期	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由				
		該当なし								
合計(D)				後任補充状況の集計(E)						
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 ・就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
 ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹(専任)教員氏名	時期	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	林 芳治	R7.3	必修	創意思考法	①	R7.3.31付け、一身上の都合(家庭の事情)のため辞任(7)			
				必修	創意思考法	①				
				選択	福祉政策と福祉制度	②				
				選択	相談援助論	①				
				選択	相談援助方法論	①				
				選択	障害者の理論と方法	①				
				選択	高齢者に対する支援	①				
				必修	人間科学専門演習Ⅰ	①				
				必修	人間科学専門演習Ⅱ	①				
				必修	人間科学専門演習Ⅲ	①				
				必修	人間科学専門演習Ⅳ	①				
				必修	人間科学専門演習Ⅴ	①				
必修	人間科学専門演習Ⅵ	①								
必修	人間科学専門演習Ⅶ	①								
合計(F)				後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数				担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)			
1	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	4	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	13	科目	計	1	科目

(注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹(専任)教員**について、記入してください。
 (学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください)。
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
 ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-③ 上記(3)-①・(3)-②の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)						
辞任等した教員数				担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)			
1	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	4	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	13	科目	計	1	科目

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{11} = 9.09\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)-⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹(専任)教員等の状況

1人

(注)・(3)-①、(3)-②で赤字で記載した基幹(専任)教員数の合計数を記載してください。
 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。

(3)-⑥ 定年により退職した基幹(専任)教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹(専任)教員氏名	時期	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数				担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・**定年により退職した全ての基幹(専任)教員**について、記入してください。
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
 ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹(専任)教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

林芳治教授の一人上の都合による退職に際し、設置部からの変更が生じてしまうことを鑑み、完成年度を迎える令和6年度までの継続を打診したものの、組織困難とのことで申し出を受理。既担当科目および担当予定科目を設置専任時の講義内容に沿って実施可能な教員の採用を行うべく調整を行い、稲垣美加子教授を採用。学生への周知方法について、林芳治教授から学生宛てに6年度をもって退職する旨の説明と後任の紹介を行うとともに、人間科学科の教員および事務部にて、新任の稲垣美加子教授が適切な指導を行えるようにサポートを実施。

(注)・上記(3)の基幹(専任)教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和5年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 人間科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備 実験実習室数 20室 (大学全体)	学生の修学環境を改善するため、当該学科に関わる実験室等を4部屋設置した。

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 教育向上委員会(資料1)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 月1回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 科目間連携、授業計画改善、教育指導、授業方法の改善、教育評価、教職員研修に関する事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画確認 ・ 授業方法について研修会 ・ 新任教員のための研修会 等 ・ 教員相互の授業参観 <p>b 実施方法 対面開催</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む) 年間計画に基づく通年実施(本務教員全参加)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 高等教育研究センター等へ実施結果を報告し、次年度以降の授業改善に向けた検討、方針に反映</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 有</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 役職教職員に公開し内容確認のうえ押印/大学HP 教育情報の公表実施</p>

(注)・①a 委員会の設置状況には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 別紙のとおり(資料2)</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表(予定)時期 ・令和8年度に令和7年度分の公開を予定している。</p> <p>b 公表方法 ・大学ホームページ上に公開予定(令和8年4月頃を予定)</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 ・令和7年に認証評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価受審。</p>

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書(令和7年度)</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>« a で「有」の場合 »</p> <p>b 公表(予定)時期 [<u>調査結果公表後1ヶ月以内</u> ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [<u>ウェブサイトへの掲載</u> その他()]</p> <p>« a で公表「無」の場合 »</p> <p>d 公表しない理由 []</p>

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○淑徳大学学部教育向上委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、淑徳大学教育向上に関する規程第6条第2項に基づき、学部教育向上委員会（以下「委員会」という。）について定める。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の事項を取り扱う。

- (1) 科目間連携及び授業計画の改善に関する事項
- (2) 教育指導法、授業方法等の改善及び向上に関する事項
- (3) 教育評価に関する事項
- (4) 教職員研修に関する事項
- (5) その他の必要な事項

(事業)

第3条 前条の実施に当たっては、次の事業を行う。

- (1) 教育改善に向けた調査
- (2) 教育改善に関する教職員研修
- (3) 授業公開
- (4) 教育改善に関する報告書の作成
- (5) その他の必要な事項

(構成)

第4条 委員会は、委員長及び委員若干名で構成する。

2 委員長及び委員は、学部の専任教員及び事務職員の中から、学部長が委嘱する。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(招集)

第6条 委員会は、委員長が招集する。

(学部長への報告)

第7条 委員会で検討・審議した事項については、委員長は、これを学部長に報告する。

(高等教育研究開発センターへの報告)

第8条 委員会で検討・審議した事項については、委員長は、これを高等教育研究開発センターに報告する。

(事務担当)

第9条 委員会に関する事務担当は、別に定める。

(その他)

第10条 この規程の運用に当たっては、高等教育研究開発センターと協働して、各学部の現状に合わせて取り扱うものとする。

附 則

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行に伴い総合福祉学部 教育向上推進委員会規程、総合福祉学部 教育向上推進要領、社会福祉学科 教育向上推進小委員会規程、教育福祉学科 教育向上推進小委員会規程、実践心理学科 教育向上推進小委員会規程、教育向上推進委員会規程（国際コミュニケーション学部）、看護栄養学部 教育向上推進委員会規程、看護栄養学部 教育向上推進要領、コミュニティ政策学部 教育向上推進委員会規程、コミュニティ政策学部 教育向上推進要領及び教育向上推進委員会規程（経営学部）は、平成25年3月31日をもって廃止する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

(1)設置の趣旨と目的

近年、少子高齢化や核家族化の急速な進展により、子どもや高齢者を取り巻く諸情勢は大きく変化している。また家庭や地域社会の中での人間関係の希薄化をはじめ、運動不足や生活習慣など日常生活の中での健康リスクが増大していることから、現代人のこころと身体の健康に関わる複雑な諸問題の解決にむけた、こころの健康と身体的な健康を統合した全人的なアプローチによる健康支援が求められている。

人間を取り巻く現代という時代のこのような課題をふまえ、「人類が創出した言語による表現と人類が積み重ねてきた歴史、社会における人間の行動分析を柱とする人間の所産に関する教育研究を通じて、幅広い基礎的な研究を展開することにより、新しい知識を創造するとともに、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を身に付ける」ことを教育の目的とする人文学部に設置した本学科では、淑徳大学の既設学科で培ってきた心理・福祉・健康・教育の各領域の教育研究基盤を横断的に学ぶことで、多角的かつ科学的総合的な視点から人間への理解を探究する人材養成を行うことが使命である。

(2)入学者の状況

本学科では令和7年度の入試結果として、入学定員100名に対し、志願者数は合計で183名（内、留学生16名）、受験者数176名（内、留学生12名）、合格者数166名（内、留学生6名）、入学者数103名（内、留学生6名）で、入学定員充足率は1.03%という結果となった。

4月に行った新入生アンケート結果によると、おもな志望理由として「専門的な勉強をしたかった、自分の勉強したい科目がある、大学の雰囲気が良いこと、免許や資格を取得できるといった」（複数回答可）という結果となっている。一部で第2志望以下での不本意入学者層もいるものの、入学者の多くが本学のオープンキャンパスに参加し、学科の学びや特色を理解して入学を決めていることがうかがえた。

(3)教育及び学生支援の状況

設置の趣旨の達成については、今後も継続的に評価を行う必要があるが、現時点の取り組みや支援は下記の通りである。

①基礎教育科目

基礎教育科目は8つの科目区分を設定しており、1・2年次に配当されている科目はすべて開講している。大学での学びを主体的に進めるための基本的なスタディスキルの修得は「初年次セミナー」で実施し、本学で学ぶ意味を考える「利他共生」では建学の精神を学んでいる。また思考力・表現力の養成、人間力・社会力の養成は段階的・継続的な学修を実施し、今年度は「コミュニケーション英語Ⅲ（実践）」、「表現技法Ⅲ（発表・討論）」と教育内容を深化・強化している。特に「地域活動と社会規範」や「社会的・職業的自立Ⅰ・Ⅱ」において、地域共生活動の意義を理解すると共に、学生自らが将来への目的意識をもって学び続けていく基盤づくりとなる教育を実施している。

②専門教育科目

専門教育科目は基礎科目、基幹科目、展開科目、演習科目、実践科目に区分しており、1・2年次に配当している科目はすべて開講している。4領域を学ぶ人間科学科特有の「人間科学概論」では、オムニバス形式で各領域の専門教員がそれぞれの学問の「人間を捉える視点」を教授し、学生の視野が拡がり柔軟にものごとを思考する教育を実施している。また、演習科目の「人間科学専門演習Ⅰ～Ⅷ」では一貫した4年間の学びを実現するためのステップアップ教育を実施し、1年次後期にはクリティカルシンキングの基礎を学び、2年次前期には毎週、科学的研究論文（心理学、福祉学、教育学、健康学）を1本ずつ輪読しながら情報整理能力を高め、後期にはグループワークによる調査の実施体験を行っている。

③新入生セミナー

建学の精神及び大学生生活の理解を深め、学生相互の交流を図ることを目的として、新入生セミナーを実施した。セミナーでは、学部共通としての大学の宗教行事（降誕会）と、学長講話による建学の精神の学習時間を設けた。また、大学生活への適応を促進するため、人間科学科の特色を踏まえた4領域の学科体験プログラムと、学生間の交流プログラムを実施した。加えて、人との関係性を築くことや、集団活動等が苦手である学生も一定数いるため、新入生歓迎会は4月ではなく6月後半に、学生自らが企画して開催するといったプログラムに変更し、次第に他者との関係性を築いていけるように検討を重ねている。

④学生支援

入学してくる学生の背景などをみると、不登校やいじめの体験、複雑な家族関係やさまざまな心身の疾患を抱えており、他者への不信感や自己肯定感の低い学生も多い。そのため、まずは大学に慣れて通学継続が可能になることを重視しながら、履修指導や学修指導に繋げている。1年次から毎年アドバイザー面談を実施し、それと同時に学生面談シート、学生生活振り返りシートなどを作成するという学科全体の学生支援体制の強化を継続的に実施している。また、アドバイザーが一人で問題を抱え込み負担が増えないように、教員間で常に情報共有を図るとともに、相談しやすい環境をつくり、さらには学生相談室や保健相談室、教務・学生厚生委員会等の職員との協力体制も構築している。

⑤資格等取得支援

人間科学科資格取得支援制度の導入や心理学検定サークルの立ち上げ支援、大学院受験サポートサークルなどの立ち上げに伴う支援を行い、また、キャリアセンターとの協議を重ね、さまざまな資格取得講座などの企画も検討しており、今後さらに学生の将来にとっての学びの機会の充実を図る予定である。

(4)総括評価・所見

本学科は、入学定員充足率を満たしスタートを切ることが出来ており、その後の教育研究活動でも設置の趣旨に則り、計画の通り確実に履行している。3月末に行う全教員会で

は専任・兼任教員間で教育方針などを共有するなど、組織的体系的に教育を展開するための情報共有を綿密に行っている。完成年度に向けて、国家資格である「公認心理師」受験資格取得のための心理実習の準備を引き続き進めるとともに、学科の特色でもある「フィールドワークⅠ・Ⅱ」のプログラムの検討やフィールドワーク先の開拓方法などを具体化する検討も継続的に行っている。

今後、授業アンケート調査をはじめとする各種学生調査やその結果などを踏まえ、学部教育をPDCAサイクルに則り、毎年度点検・評価を行い、社会から認知され、安定的な入学定員の確保と専門知識を身につけ社会から求められる人材養成に継続的に取り組んでいきたいと考えている。